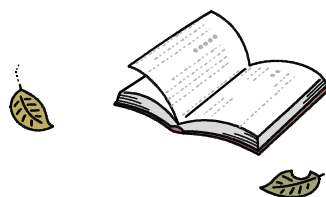


図書室だより

平成28年10月
川本南小学校

みなさん「読書の秋」を楽しんでいますか？ 9月、10月には、新しい本がたくさん入りました。今回は、『ミルキー杉山の名探偵』、『ルルとララ』や、『ほねほねザウルス』など人気シリーズの新刊もあります。短編集『5分後に意外な結末』や、『ストーリーで楽しむ日本の古典』も、読みやすく面白いので、おすすめです。10月11日に、清風苑さんから交流事業でいただいた本もたくさんあります。ぜひ、図書室にきてくださいね。

平成28年 第70回 読書週間
10月27日（木）～11月9日（水）
今年のテーマは
「いざ、読書。」
いろいろな本の中を旅してみよう。



9月にたくさん本を読んだ人

12冊	6の1	飯野 真緒 さん
9冊	10の1	新井 煌人 さん
7冊	10の1	鈴木 彩花 さん
	2の1	中山 葵 さん
	3の1	川原 涼雅 さん
	4の1	渡邊 実耶 さん
	6の1	石川 結那 さん

一番多く本を借りてくれたクラスは、1年1組(91冊)です。
おめでとうございます！



今月のおすすめの本



9月に新しい絵本が32冊入ったのに引き続き、10月にも新しい本が30冊あまり入りました。読みたくなるような本が、たくさんあると思います。

新しく入った本の中でも、特に私がおすすめしたい本は、『なりたい自分になろう! 人生を切りひらいた女性たち1 医療・科学編』です。

この本で、現熊谷市出身の荻野吟子が紹介されています。

荻野吟子は、女性医師の、日本第一号となった人物です。自らが病気になる、入院したことをきっかけに、女医の必要性を強く感じ、その時に抱いた意志をつらぬいて、女性医師の第一号となりました。

そう書いてあるのを見ると、「がんばった女性なんだな」と思うだけで終わってしまうかもしれません。が、吟子が生きたのは明治時代です。この本の「はじめに」にあるとおり、現代とは違って「学問や医療の現場に女性が入っていくことさえ禁じられていた時代」でした。吟子は10代で結婚、その後病気になる離婚します。女医になるために医学校に入学したのが29歳で、学校には男装で通いました。医学校を好成績で卒業しても、当時は、医師になるための試験を受けることが女性には認められていなかったため、吟子は制度の改正から取り組みます。

高名な医師の協力があつたとのことですが、その何十倍の反対があつたことでしょう。それを押し切り、医術開業試験に合格し、日本の女医第一号となったのが35歳の時でした。10年以上、反対されても反対されても、くじけずにがんばることは、並大抵ではありません。この本には、科学と医療の分野で活躍した、意志の強い女性がたくさん載っています。もちろん日本の女性だけでなく、キュリー夫人やナイチンゲールなども出ていますよ。女性だけでなく、人類全体にも貢献した人たちです。もちろん男性が読んでも面白いと思います。ぜひみなさんも、「どんな人になりたいか」を考えながら、読んでみてくださいね。



毎月23日は家庭読書の日

テレビやゲームをお休みして
おうちのひとといっしょに
本をよみましょう